

令和4年度

久留米市雇用優良事業所

仕事と家庭の
両立支援
モデル事業所

仕事と家庭の両立支援モデル事業所

有限会社 久留米臨床検査センター

■業種／臨床検査、予防医学検診支援

■常用労働者数／137人（男性59人、女性78人） ■所在地／久留米市大石町428-3

取り組み内容

- 育児休業後の復職にあたって、本人の希望や体調を考慮し、短時間勤務制度の導入や臨床検査技師としての資格を生かせる部署への配属など、働きやすい環境を整えている。

周りへの感謝を忘れず、互いを理解し、 分かり合える働き方を

血液検査や病理学検査など、医療機関からのさまざまなニーズに応える有限会社久留米臨床検査センター。臨床検査技師として女性職員を多く雇用しており、産前産後休業・育児休業を取得しやすい環境づくりだけでなく、復職後のサポートも行っています。

現在は、育児休業を取得した4人が復職しています。「臨床検査技師は基本的にフルタイム勤務の立ち仕事のため産後の体調にはつらい場合も。短時間勤務も可能にしたり、内勤の営業部などでも臨床検査技師としての資格を生かせるようにマネジメントしています。職員たちは互いを理解し、補い合いながら働くことが自然にできています。だからこそ、「周りへの感謝の気持ちを忘れないこと」を大切にしよう伝えていきます」と話す森田代表取締役社長。

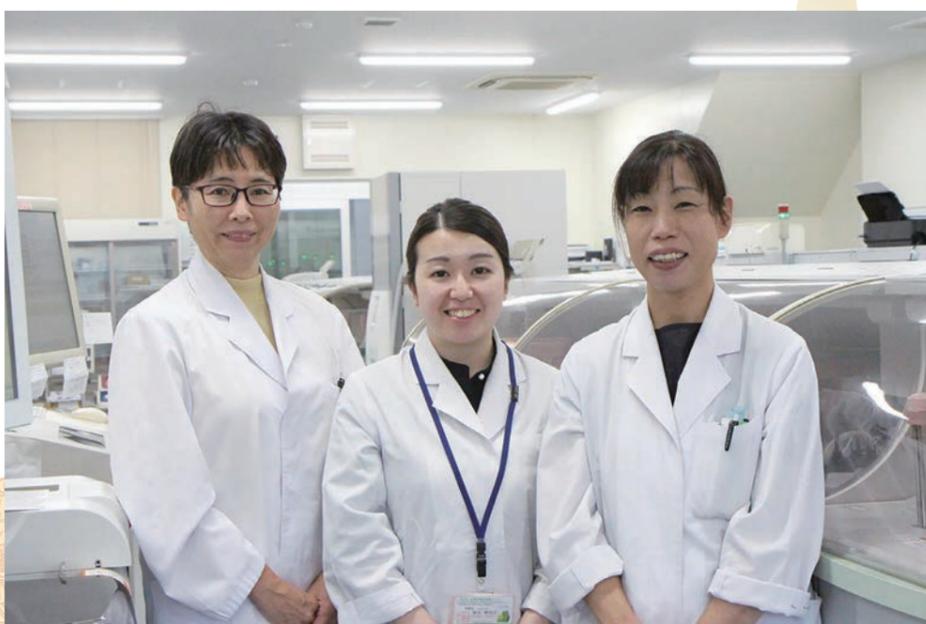
「今後は、当然のように互いにカバーし合える雰囲気のある環境を生かし、全職員が1週間ほどの有給休暇を取得し家族旅行に行けるような労働環境を整えていきたい」と語ります。



代表取締役社長

もり た そういちろう

森田 崇一郎さん



▲産前産後休業・育児休業を利用し復職した川嶋さん(左)、垂水さん(中)、船崎さん(右)



▲顕微鏡を覗く川嶋さん



▲有限会社久留米臨床検査センターの内観

今年度、検査部課長に就任された川嶋さんは、既に成人した子どもが2人います。「私が産休・育休を取得した当時は、周りに少し気兼ねしていましたが、今では産休・育休を取ることが当たり前になり、お互いに快く送り出しています。部下に男性職員が2名いるので、彼らにも将来育休を取得しやすい環境を作りたい」と話します。

また、夫婦共働きの船崎さんは「子どもたちの送迎の都合で遅れて出社することもあります。先輩方にも子育て経験者が多く、相談しやすく、配慮いただいています」と話します。

垂水さんは「子どもの病気などで突然仕事を抜けなければならないことが毎月何度もあります。それでも、資格を生かして周りの人たちの理解がある環境ありがたい」と話します。

笑顔が素敵な明るい3人の職員は「休職後もまたここで働きたいと思える職場です」と語ります。